

給茶機の停止

運用
改善

メンテ
ナンス

チュー
ニング

設備
更新

DM
制御

- 稼働が少なくなる夏場に給茶機を停止することで節電になります。

計算例

給茶機を停止すると...

- 節電効果 : **節電効果 1万円(夏季)** 【業務用電力単価を適用】
節電電力 約 10.0kW
節電電力量 約 500kWh

- 対策内容 : 給茶機の停止

- 計算式 : 節電電力(kW) = 定格消費電力 × 対象台数
節電電力量(kWh) = 1台当り給湯量 × 昇温する温度
× 対象台数 × 対象日数
× 4.18kJ/°C・L ÷ 3,600kJ/kWh

(試算条件)

定格消費電力: 1.0kW/台

対象台数: 10台

1台当り給湯量: 10ℓ/日(仮定)

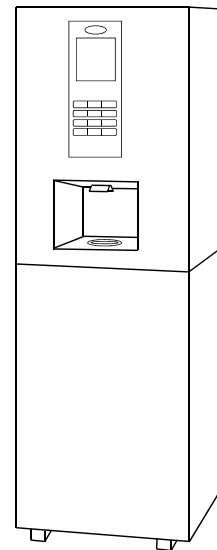
昇温する温度: 75°C (給水温度15°Cと給湯温度90°Cの差)

対象日数: 60日/年

ポイント

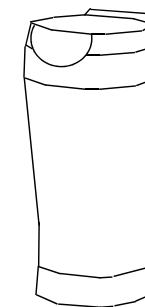
- 停止に際して給茶機内の溜まり水の排水や、給湯再開時の水質確保等の配慮が必要です。

参考



給茶機
利用

例えば...



水筒
持参